



東京都社会福祉事業団

# 事業団通信

vol.

8

平成31(2019)年

3月発行

## 事業団で働くなかまたち

東京都社会福祉事業団では利用者様、子どもたちへより良い支援をするために様々な職種の専門職が働いています。

そんな「事業団で働くなかまたち」をご紹介します。

今号は、船形学園（児童養護施設）で働く栄養士、真田奈都子さんです。

### Q1: どんなお仕事ですか？

A: 入所児童の毎日の食事を考え、毎食決まった時間にきちんと食事を提供し、提供している食事が入所児童に適しているかを考えることが主な仕事です。安心で安全な食事を提供できるように厨房や各室のキッチンの衛生面のアドバイスをしたり、児童の食事面や栄養相談をうけたりもします。調理員をはじめ多くの職種と連携して、児童が健康的に学園生活また卒業後の生活を送れるようにサポートする仕事です。

### Q2: 1日の流れを教えてください

A: 毎朝、厨房へ行き調理員さんと予定等を話します。その後、職員朝礼に参加します。朝礼後は、事務所で献立



作成や発注、賄費の計算、食数の把握等の事務作業をしています。

### Q3: このお仕事をする上で大事にしていることはありますか？

A: 安全で安心な食事提供をすることを心がけています。入所児童の中には食事を十分に摂れなかった児童もいます。その様な子達にもここにいれば食事は3食ちゃんと食べられると安心して欲しいですし、いろんな食材を食べてもらい、いろんな味を知ってもらい食経験をつんでもらいたいと考えています。また、入所児童は、この施設から卒業します。卒業後の健康管理の一環として食事にも気にかけてもらえるように自立に向けての食事アドバイスをすること大切だと思います。



船形学園 栄養士  
真田 奈都子さん

### Q4: このお仕事をやっていてよかったと思うこと(やりがい)はなんですか？

A: 「おいしかった。」「またこれが食べたい。」と言われるとこの仕事をしていて良かったと思います。今年は料理で世界一周という企画を献立にとりいれてみました。子ども達の楽しみになれば良いと思っています。また、お菓子やパン作り、栄養士の業務ではないのですが、風作りや編み物等のイベントで子ども達と一緒に物を作ることが好きです。楽しそうに、時に真剣に取り組んでいる子ども達とふれあえることが楽しいです。また、こども園に通っている子達が帰ってきて事務所に「ただいま。」と挨拶してくれることも嬉しく、受付窓から顔も見えなかった子の顔が見えるように成長していく様子を見られるのも楽しみのひとつです。



希望の郷 東村山

## りれーとーく

ジェネラルマネージャー、マネージャー、サブマネージャーでコラムをつないでいく「りれーとーく」今号はマネージャーである八王子福祉園の西澤グループリーダーです。

### 『Be Myself』

八王子福祉園 西澤 巧  
生活支援第1グループリーダー

老いを感じます。ここ最近、夜10時頃にはウトウト眠くなります。

老いを感じます。人の名前が出てきません。先日、「北川景子」を思い出せなかった時はしばらくヘコミました。

老いを感じます。ご飯を食べに行った際、店員さんに「大盛無料です」と言われても、「いえ、普通で大丈夫です」と断ってしまいがちです。

老いを感じます。鼻毛を抜くと、5〜6本に1本の割合で白髪くんに会います。

老いを感じます。若手職員に仕事を頼ん

だ際、「ワンチャン、間に合わせませう」と応えられた時は、「ワンチャン」が引っかけたその後の会話が頭に入ってきませんでした。

老いを感じます。以前は年齢を言うと、「ホントですか？若く見えますね!」と言われることが度々あったのですが、最近はそんなやり取りは皆無です。

老いを感じます。居候だったはずのお腹まわりの脂肪は住民票を移したようで、すっかり棲みついてしまいました。

じゃあ、アンチエイジングにでも励めばって言われそうですが、「人にやさしく、自分にもっとやさしく」が座右の銘なので、自らを律する自信はありません。



でもちょっと待ってください。年齢を重ねるってそんなにネガティブなことなのでしょうか？ある社会学者は、「おじさん」とは年齢や見た目ではなく、既得権益を失うことを恐れ、変化しようとせずにその場に留まろうとする人」と定義しています。ということは、アンチエイジングこそがおじ

さんののはじまりってことじゃないですか!?

若返ろうなんて考えず、年齢相応に振舞おうとせず、自分が良いと思ったことをやる、楽しいと感じたことにのめり込む、無理だと判断すれば回避する。

～常に自然体でいよう～

そんなフレーズを頭に浮かべながら、今日も私は自分を甘やかしつつ2本目の缶ビールのプルタブを開けるのでした。老い……

## 理事長挨拶

社会福祉法人  
東京都社会福祉事業団

理事長

塩見 清仁



この四月に理事長に就任しました塩見清仁です。今年度は事業団にとって設立二十周年となる大事な年度です。それぞれの職場で日々職務に精励されている皆さんとともに、そして先頭にたって事業団発展のために全力投球してまいる所存です。

福祉サービスは政策的な市場で提供されるため、基本的に品質競争のみが存在し、(もちろんコストダウン的な要素は重要ですが、) 価格競争のある市場より、その提供するサービスの質の高さがより追求されます。言い換えるならば、私たちの職場はそれ故に、より困難であると言っても過言ではありません。しかも、このサービスの品質の評価が必ずしも計量的に測定されるものではないことから、達成感、やりがいという点で、我々の日常的な悩みに繋がっているのかもしれません。そう言った悩

みを軽減し、皆さんに夢をもって安心して仕事ができるように、日常において、皆さんの心の余裕を作るのが経営者としての私の仕事です。

四月当初から、新しい仲間が増え、最大の学びは他人に教えることとも言われますが、そんな言葉や、初心忘れるべからず、といったような言葉を思い出すのも年度当初特有のものかもしれません。NLP(神経言語プログラミング)の理論の中の「学習の四段階」にⅠ無意識的無能(知らないののでできない)Ⅱ意識的無能(知っているけどできない)Ⅲ意識的有能(知っていて、意識するとできる)Ⅳ無意識的有能(意識しなくてもできる)というものがあります。経験知見を積むとⅣの段階のようにベテランとして日々の職務に当たることができるようですが、ここはⅣの段階の皆さんも意識的にⅢの段階に舞い降りて、初心忘れるべからずで、もう一度、意識して日々の仕事に当たること重要であると思います。

私にとっては、今回が事業団通信の初めてのご挨拶になりますので、若干自己紹介をします。福祉の現場は児童相談センターの保護課長からの二十年ぶりのことになります。そのころまさに事業団もスタートしたわけです。福島県の会津出身でもう田舎にいたころより倍以上も東京にいますが、未だに故郷訛がぬけません。不器用ものですが、今後ともどうぞよろしくお願いします。



## 職場紹介

# 希望の郷 東村山

希望の郷 東村山  
設置年月：平成30年4月1日  
所在地：〒189-0012 東京都東村山市萩山町1-35-1  
事業種別：自主事業 施設入所支援（定員80名）  
生活介護事業（定員105名）、短期入所事業  
共同生活援助事業、特定相談支援事業



## 希望に向かっていっしょに歩む。

ふつうやあたりまえ、安心や満足、それは、一人ひとりちがっています。  
だから私たちは、日々の暮らしのなかで、利用者様一人ひとりを深く理解すること、  
一人ひとりの小さな変化に気がつくことを大切にします。  
それぞれの想いや願い、希望を少しずつ叶えていけるように。  
この場所を、あたたかい自分のふるさとだと思えるように。  
「希望の郷 東村山」は、ご家族、地域の皆さまと力を合わせて、  
利用者様一人ひとりの輝く笑顔、よりよい明日のための支援をつづけていきます。



### みんなが笑顔で過ごせる空間に

部門長  
**渡辺 和美さん**  
経歴 平成11年 町田福祉園  
平成18年 東村山福祉園  
平成30年 希望の郷 東村山



利用者様やそのご家族、地域の方々、職員も含めて「希望の郷 東村山」に関わる方が笑顔で過ごせる施設を目指します。

### 一人ひとりの個性を尊重して

生活支援第2グループリーダー  
**浅川 恭子さん**  
経歴 平成10年 町田福祉園  
平成18年 東村山福祉園  
平成30年 希望の郷 東村山



利用者様が安心して安らげる暮らしを目指し、それぞれの個性を大切に丁寧な支援をしています。

### 仲間と共に、誇りある施設を創り上げる

生活支援第1グループリーダー  
**林 将幸さん**  
経歴 平成16年 石神井学園  
平成26年 東村山福祉園  
平成30年 希望の郷 東村山



「希望の郷 東村山」は多くの方の力を借りて開設しました。この施設を誇りに思います。利用者様に素敵な毎日を過ごしていただけるよう仲間と一緒に頑張ります。

### 諦めずに挑戦していく施設を目指して

日中活動支援グループリーダー  
**松井 潤さん**  
経歴 平成21年 勝山学園  
平成26年 東村山福祉園  
平成30年 希望の郷 東村山



生活介護の担当として、利用者様がより豊かな人生を送れるよう、新しいことにチャレンジできる日中活動を模索していきます。

## 園の取組

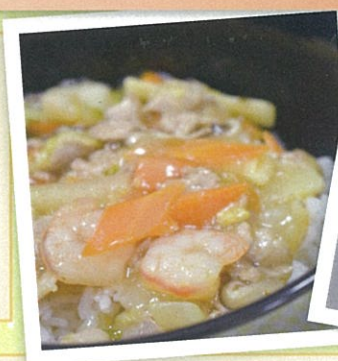
## Instagram はじめました！

希望の郷 東村山公式 Instagram を開設しました！

### 「kibounosato 希望の郷 東村山」

日中活動の様子や施設のイベント案内など情報を更新していきます。

アカウントをお持ちの方はぜひフォローしてください。



### Instagram (インスタグラム) の見方

#### ○スマートフォンの場合

iPhoneなら App Store、Androidスマホなら Google Play から「Instagram」アプリをダウンロードし、登録してください。登録が済みましたら、「kibounosato」を検索すると、希望の郷東村山公式ページに移ります。

#### ○アカウントを持っていない場合

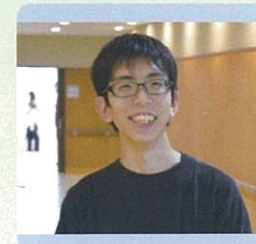
Instagramのアプリをインストールしていなくても、パソコン等を使用し、インターネットの検索バーにて、以下のURLを入力すると情報を閲覧することができます。

<https://www.instagram.com/kibounosato>

## スタッフインタビュー

生活支援第1グループ 福祉  
**田中利貴さん**(5年目)

利用者様の笑顔や穏やかな表情がたくさん見られるよう、一緒に楽しく過ごしていきたいです。



生活支援第2グループ 福祉  
**舘野希望さん**(4年目)

施設も新しくなり、心機一転、利用者様の笑顔に元気をもらって仕事をしています。



管理グループ 看護師  
**花坂恵美さん**(1年目)

覚えることが多い毎日ですが、皆様の協力を得ながら、日々の変化を見逃さないように努めています。



生活支援第2グループ 福祉  
**久保明日香さん**(2年目)

利用者様が安心して楽しく生活が送れるように支援しています。利用者様と日々関わり、私自身も成長でき、毎日充実しています。



生活支援第2グループ 福祉  
**小林晴香さん**(2年目)

利用者様が、新しい環境で安心感を持ち、充実した生活を送れるように支援していきます。



管理グループ 栄養士  
**若尾亜希子さん**(1年目)

安心・安全で利用者様が思わず笑顔になるような美味しい食事の提供を目指して奮闘中です。





「希望の郷 東村山」は、たくさんの関係者の皆様の経年にわたる御尽力により、平成30年4月、無事めでたく、東京都社会福祉事業団の2番目の自主運営施設として、船出することができました。入所利用者80名、通所利用者30名、短期入所利用者10名、併せて120名の利用者定員と、4つのグループホーム（利用者27名）を持つ大規模な施設となっています。

建物は立派に完成しましたが、施設の真価が問われるのはこれからです。「希望の郷 東村山」は、重度の自閉症、強度行動障害等をお持ちの利用者支援において、日本一の施設を目指してまいります。どんなに障害が重い人であっても、その人の輝く笑顔を引き出し、より良い明日の実現のために、思いや希望を叶えられるよう、職員一丸となって努力して参ります。



祝 希望の郷 東村山 開所式  
社会福祉法人 東京都社会福祉事業団

## 開所式



松島 匡典 施設長

経歴  
昭和53年入都。  
重度知的障害児・者、重症心身障害児・者施設に38年間勤務。  
平成28年東京都社会福祉事業団に入職。



## 希望の郷 東村山運営 グループホーム紹介



グループホームウィズ（東大和市）  
入居者7名 平成30年4月開設



グループホームけやき（東村山市）  
入居者7名 平成29年4月開設

グループホームきらり（東大和市）  
入居者6名 平成24年4月開設



## 希望の郷3か所目のグループホーム「ウィズ」開設しました！

希望の郷 東村山が運営するグループホーム「ウィズ」が今年4月に開設されました！昨年度の1年間は自活訓練事業として運営していました。昨年から引き続き5名の利用者様が利用され、4月には新たに地域の方が2名（東村山市、東大和市から各1名）入居されました。利用者の意思を反映したグループホーム生活が実現できるよう職員一同頑張ります！



サービス管理責任者  
野村 悠介さん

## 特 集

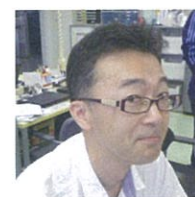
## 事業団 20周年 になりました！

この6月1日で事業団は20周年を迎えました。そこで、勤続年数20年を迎えた方々の中から4名の方にコメントをいただきました。

### あっという間の20年

日野療護園

石川 達也さん



**Q1** 出来事としては、事業所の立ち上げから民間移譲まで色々ありましたが、渦中に居る時は目の前の事で精一杯で、あっという間でした。自分を振り返ると、ぼんやりしたり、ちょっとだけ頑張ってみたり、随分と波のある仕事ぶりだったと思います。今の自分も全然まだまだですが、昔の自分を思い起こしてみると、これでも少しずつ成長してきたんだと思います。先輩や仲間と20年かけて、諦めずに育ててもらったお陰です。感謝！

**Q2** 照れ臭いですが、また友達も少ないですが「仲間との出会い」です。職場としては現事業所で3つ目ですが、仲間と別れ、新しい仲間と出会い、また昔の仲間と再会するという形で仕事が出来たことは大きいですね。お互いに刺激しあえる仲間が居たから、今の自分があると思います。また転職という形ではなく3つの違う職場を経験出来たことも良い経験でした。自分はあまり「変化を望まない性格」ですが、結果的にはとても自分の糧になりました。

**Q5** 誰であってもその人らしく生きてゆける社会を作る、そのことを常に目指し、発信し続ける、そういう人に、私はなりたい。

- Q1**：20年、振り返ってみてどうですか？  
**Q2**：事業団職員として20年やってきて「よかった」と思うこと  
**Q3**：事業団職員として、大事にしてきたこと  
**Q4**：今後の事業団について「期待すること」「こうしたい」  
**Q5**：これからの職業人としての私「こうなりたい！」

### 20年を振り返って！！

八王子福祉園

堀内 真奈美さん



**Q1** ファーストインプレッション…『平成10年…私たち新入社員は、あんなにフレッシュだったのに！20年分歳をとってしまった』今では…あの頃先輩方の気持ちが良く分かります…(笑)

**Q5** 少し思いを馳せてみる…色々な仲間、利用者様との『出会い』そして『別れ』を経験してきました。この20年でどれだけの方と出会い、一緒に過ごさせていただき、そしてお別れしてきたことか…。出会った大勢の方たちと、共に笑い、時には泣き（昔はホントに泣き虫でした…）辛いことも嬉しいことも楽しいことも、たくさん経験してきました。それは『私の中の一部』として、今の自分を動かしている原動力となっています。そんな中で思うのは、将来職業人として卒業を迎える日に、利用者様にも職員にもやさしい事業団で良かったと思って終わりにしたいということです。そのために私は、自分が出来る役割を自分らしく、果たしていきたいと思っています。

### 気持ちを新たに！

事務局

清水 恵さん



**Q1** 振り返ってみると、いろんなことがありました。最初の職場は新規開設だったので、若い職員ばかり。今考えると勢いで仕事をしていた気がします。「これやりたい！」「こんなことやってはどうだろう」とみんなでたくさん話をし、やりたいことをたくさんやりました。その時に学んだ、利用者様への向き合い方や仕事の姿勢は今のベースになっていますし、その時の仲間は今も大事な人たちで、会うと初心に戻してくれます。

**Q4** 今後も勤続年数20年を迎える職員さんがたくさんいる事業団であってよかったと思います。利用者様や地域の方々に「事業団があってよかった」と思われるような、そしてそこで働く職員さんが自信と誇りをもって安心して働き続けられる、そんな事業団にしていきたい。そのためには、もっともっとこの世代が元気に楽しく頑張らないと。20年組もまだまだやります！気持ちを新たにガンバります！

### たくさんの出会いに感謝

七生福祉園

坂口 雅代さん



**Q1** 事業団に入る前は保育園での勤務しかなかったのですが、事業団では成人利用者の生活支援に携わり、現在は地域・就労支援を行っています。このような多くの経験により、幅広い視野をもって福祉の仕事に取り組めるようになりました。

また、20年間続けられたのは利用者の方やそのご家族、職場の上司や仲間など、たくさんの人との出会いがあったからと感謝しています。皆さんと出会えたことが、今の仕事の糧になっています。

**Q3** 福祉の仕事をしていて、いつも「利用者の方にとって良い支援」を心がけています。良い支援とは必ずしも一つではなく、はっきりわからないことも多くあります。私は職員として悩みながらより良い支援を見つけていく努力の過程がとても大切だと思います。自分で解決に向けて取り組むことは、経験だけではなく、専門職としての知識を増やしていくことにもなります。また、一人で悩んでも行き詰まりますが、他の専門職の方や仲間の意見を聞くことで、いろいろな考え方の中から解決策を導くことができます。職員の方にはそんな経験をたくさんしていただきたいと思っています。そして活気ある事業団を職員みんなで作っていきよう努力していこうと思います。



## 平成29年度 事業報告(概要)

### ○日野療護園の安定的な施設経営

日野療護園は、事業団が東京都から民間移譲を受けて運営する初の自主運営施設として3年目を迎え、経営感覚をもって業務経営に取り組み、安定的な施設運営を行いました。

### ○「希望の郷 東村山」の開設に向けた準備

東村山福祉園は福祉型障害児入所施設と2つの障害者支援施設に分割されました。そのうち、事業団が民間移譲を受けて運営する「希望の郷 東村山」の開設に向けた準備を計画的に行い、平成30年3月に開所式を行いました。同時に、指定管理施設として存続する障害児施設の仮設移転・改築に向けた準備も確実に行いました。

### ○連携型専門ケア機能モデル事業の安定的な事業運営と効果検証に向けた準備

石神井学園においては、虐待による重篤な愛着障害の症状等を有する児童を対象とした「連携型専門ケア機能モデル事業」が事業実施3年目を迎えました。引き続き東京都と連携し、事業の安定的な運営と効果検証に向けた準備を進めました。

### ○中期経営計画の着実な推進

中長期的な視点から事業団が進むべき方向性を定めるとともに、一般社会福祉法人化への具体的な道筋を明らかにするために策定した「事業団中期経営計画（平成27年度～平成31年度）」の計画期間第三年度として、計画に掲げる各種取組を着実に推進しました。

### ○運営理念に基づく施設運営

運営理念に基づき、「利用者本位のサービスの徹底」「公的な役割の強化」「人材の確保・育成の充実強化」「運営体制の強化」「地域ニーズへの対応」の5点に重点を置いた施設運営を行いました。

### 1 利用者本位のサービスの徹底

- 児童養護施設では、被虐待児や発達障害児、高齢児童が増加していることを踏まえ、心理的療法や様々な支援プログラムの活用等、専門的な支援の充実を図りました。
- 障害施設では、利用者の高齢化や障害の重度化に対応し、医療的ケア、専門職と連携した理学療法、心理的療法などの専門的支援や個別的支援を充実させました。

### 2 公的な役割の強化

これまで都立施設が担ってきたセーフティネットとしての公的な役割を引き続き果たすため、特別な支援が必要な児童や利用者を積極的に受け入れるとともに、先駆的な施策に取り組み、その普及啓発を行いました。

### 3 人材の確保・育成の充実強化

質の高い人材を安定的に確保していくため、各種広報媒体を活用したPR活動やSNSを活用した情報提供、就職希望者向けの採用説明会や採用内定者交流会の充実等、PR事業の一層の強化、採用制度・採用選考の見直し等に力を入れて取り組みました。また、平成26年度に改定した人材育成方針及び研修計画に基づき、①OJTの推進、②研修の計画的な実施、③自己啓発支援制度を3つの柱として人材育成に取り組み、高い専門性やスキルを備えた職員の育成に努めました。

### 4 運営体制の強化

虐待等不適切な支援の防止に向けた取組の強化など、利用者の権利擁護を推進するとともに、外部専門家等によるスーパーバイズ体制を構築し、職員の支援技術の向上を図りました。また、リスクマネジメントや個人情報保護及び情報セキュリティ対策の徹底に努め、業務の見直しなど効率的な施設運営に努めました。また、会計監査人による監査について適切に対応し、法人の会計の健全性及び透明性向上にも努めるとともに、平成30年度からすべての施設において、新たな組織体制の「部門長・グループリーダー制」に移行することから、事業団職員の適切なポスト配置を進め、運営体制強化に取り組みました。

### 5 地域ニーズへの対応

地域で生活する障害者や子育て家庭などを支援するため、ショートステイや日中一時支援事業、障害者共同生活援助事業（グループホーム）の運営、相談支援事業などを実施しました。あわせて、施設主催の行事や研修会への地域住民参加の促進や地域の福祉関連講座への講師派遣等により、地域との相互交流を推進しました。

## 平成30年度 事業計画(概要)

## I 総括

事業団は、「利用者本位のサービスの徹底」「都立施設が担ってきた公的役割の継承」「地域連携による地域福祉の向上への貢献」を経営理念に掲げています。この経営理念の下、指定管理者並びに都立施設の民間移譲先運営事業者として児童養護施設及び障害施設の運営に万全を期すことと併せ、地域ニーズ及び社会の状況変化を的確に捉え事業の拡大や新たな取組を行い、積極的に地域福祉の増進や社会への貢献に努めるとともに、東京の福祉施策を牽引していきます。

## II 重点取組事項

### 1 事業団中期経営計画の推進

「事業団中期経営計画（平成27年度～平成31年度）」に基づき、計画に掲げる各種取組を着実に推進します。

### 2 日野療護園の安定的な自主運営の遂行

運営体制や業務の見直し等による効率的な施設運営を一層進め、安定的な経営を進めます。

### 3 希望の郷東村山の着実な自主運営の遂行

新たな施設における利用者の安全で落ち着いた生活の確保を最優先とし、あわせて、運営体制の見直しやコスト管理の徹底等による効率的な施設運営を行うことにより、着実かつ安定的な自主運営を実現し、通所定員の拡大等により地域福祉の向上に貢献します。

### 4 連携型専門ケア機能モデル事業の着実な実施

生活支援・医療・教育を一体的に提供する「連携型専門ケア機能モデル事業」について、東京都と連携し、事業の検証と新たな展開に向けた検討を進めていきます。

### 5 職員の確保・人材育成の充実強化

PR事業の強化や、採用制度・採用選考のさらなる見直し等の実効性のある取組について検討・実施を進めます。また、高い専門性や職級に応じたスキルを備えた職員の育成に取り組みます。

### 6 権利擁護・虐待防止の取組強化

利用者の安全・安心の確保を第一に、人権擁護の意識を徹底し、不適切な対応は小さな芽のうちに気付き、組織的に対応するため、虐待防止や専門的な支援に関する研修の充実等、あらゆる取組を進めます。

## III 施設運営に当たっての取組方針

### 1 利用者本位のサービスの徹底

- 利用者一人ひとりの個性や主体性を尊重した質の高いサービスの提供に努めます。
- 被虐待児や発達障害児への心理的療法、利用者の高齢化・障害の重度化に応じた医療的ケア等、専門的な支援の充実を図ります。

### 2 公的な役割の強化

- 引き続き、被虐待児童、情緒行動上の問題を抱える児童、強度行動障害を持つ障害者等特別な支援が必要な方を積極的に受け入れます。
- 重度障害者の地域移行に取り組みるとともに、蓄積されたノウハウや専門的な支援技術について外部へ発信し、東京の福祉水準の向上に寄与します。

### 3 人材の確保・育成の充実強化

- 質の高い人材を安定的に確保していくため、学校訪問、採用説明会、各種広報媒体の活用等のPR事業の強化、内定者交流会やSNS活用、採用制度・選考のさらなる見直し等の実効性のある取組を検討・実施し、離職防止策も検討していきます。
- 人材育成方針及び研修計画に基づき、高い専門性や職級に応じたスキルを備えた職員を育成するため、OJTの推進、能力・職責に応じた研修の計画的な実施、自己啓発支援制度を3つの柱として人材育成に取り組みます。

### 4 運営体制の強化

- 各施設の取組に加えて、虐待等防止研修を悉皆研修として継続して行うなど引き続き権利擁護の取組を強化します。
  - 困難事例の対応に関して、外部専門家によるスーパーバイズ等を実施することにより、職員の支援技術の向上や適切な知識の習得を図ります。
  - 職員が意欲を持っていきたいと働き続けられるようコミュニケーションの活性化や職場環境の整備に努めます。
  - ネットワーク環境の整備、端末の統一化、サーバーの一元化、業務システムの統一化を段階的に進め、IT環境を整備し、セキュリティ強化や業務効率化等を図ります。
  - 全施設で「部門長・グループリーダー制」へ移行し、事業団職員を管理職や部門長・グループリーダーに順次登用し、運営体制の強化をしていきます。
- ### 5 地域ニーズへの対応
- 社会福祉法の趣旨を踏まえ、各施設において地域の実情やニーズに応じて、地域で生活する障害者や子育て世帯を支援するための取組を推進します。
  - 短期入所、グループホームの運営、相談支援事業等、地域生活を支えるサービスの充実を図ります。
  - NPO等と連携し、利用者の社会参加や地域社会との交流を促進します。
  - 施設主催行事や研修への住民参加、地域活動への積極的参加など、地域に開かれた施設として地域との連携を強化します。

## 平成29年度 資金収支内訳表

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日 (単位：千円)

| 区 分       |        | 社会福祉事業     | 公益事業   | 合 計        |
|-----------|--------|------------|--------|------------|
| 収入内訳      | 事業活動   | 9,540,883  | 30,020 | 9,570,903  |
|           | 施設整備等  | 2,624,408  | 0      | 2,624,408  |
|           | その他の活動 | 973,791    | 0      | 973,791    |
|           | 収入合計   | 13,139,082 | 30,020 | 13,169,102 |
| 支出内訳      | 事業活動   | 8,234,734  | 14,844 | 8,249,578  |
|           | 施設整備等  | 2,718,122  | 113    | 2,718,235  |
|           | その他の活動 | 1,489,488  | 1,188  | 1,490,676  |
|           | 支出合計   | 12,442,344 | 16,145 | 12,458,489 |
| 当期資金収支差額  |        | 696,738    | 13,875 | 710,613    |
| 前期末支払資金残高 |        | 1,300,673  | 19,968 | 1,320,641  |
| 当期末支払資金残高 |        | 1,997,411  | 33,843 | 2,031,254  |

※千円未満は端数調整しているため、収支内訳差引きと当期活動増減差額等、計数が一致しない場合があります。

## 平成29年度 事業活動内訳表

自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日 (単位：千円)

| 区 分                             |         | 社会福祉事業     | 公益事業   | 合 計        |
|---------------------------------|---------|------------|--------|------------|
| 収益内訳                            | サービス活動  | 9,445,512  | 30,013 | 9,475,525  |
|                                 | サービス活動外 | 95,312     | 7      | 95,319     |
|                                 | 特別増減    | 2,315,198  | 0      | 2,315,198  |
|                                 | 収入合計    | 11,856,022 | 30,020 | 11,886,042 |
| 費用内訳                            | サービス活動  | 8,241,268  | 15,158 | 8,256,426  |
|                                 | サービス活動外 | 72,212     | 0      | 72,212     |
|                                 | 特別増減    | 2,893,289  | 790    | 2,894,079  |
|                                 | 支出合計    | 11,206,769 | 15,948 | 11,222,717 |
| 当期活動増減差額                        |         | 649,254    | 14,072 | 663,326    |
| 前期繰越活動増減差額                      |         | 1,839,768  | 20,484 | 1,860,252  |
| その他の積立金取崩額<br>その他の積立金積立額<br>(△) |         | △ 493,414  | △ 397  | △ 493,811  |
| 次期繰越活動増減差額                      |         | 1,995,608  | 34,158 | 2,029,766  |

※千円未満は端数調整しているため、収支内訳差引きと当期活動増減差額等、計数が一致しない場合があります。

## 平成29年度 貸借対照表内訳表

平成30年3月31日現在 (単位：千円)

| 借 方         | 社会福祉事業    | 公益事業   | 合 計       |
|-------------|-----------|--------|-----------|
| 流動資産        | 2,545,822 | 35,559 | 2,581,381 |
| 固定資産        | 6,981,999 | 9,128  | 6,991,128 |
| 資産の部合計      | 9,527,822 | 44,687 | 9,572,509 |
| 流動負債        | 804,450   | 1,716  | 806,166   |
| 固定負債        | 731,512   | 0      | 731,512   |
| 負債の部合計      | 1,535,961 | 1,716  | 1,537,678 |
| 基本金         | 10,000    | 0      | 10,000    |
| 国庫補助金等特別積立金 | 2,891,055 | 0      | 2,891,055 |
| その他の積立金     | 3,095,197 | 8,813  | 3,104,010 |
| 次期繰越活動収支差額  | 1,995,607 | 34,158 | 2,029,765 |
| 純資産の部合計     | 7,991,860 | 42,971 | 8,034,831 |
| 負債・純資産の部合計  | 9,527,822 | 44,687 | 9,572,509 |

※金額は千円未満を切り捨てたため、各区分を合算した金額と合計額が一致しない場合があります。

## 平成30年度 予算書(法人全体)

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日 (単位：千円)

| 区 分  |       | 社会福祉事業区分   | 公益事業区分 | 合 計        |
|------|-------|------------|--------|------------|
| 収入内訳 | 事業活動  | 10,494,980 | 30,325 | 10,525,305 |
|      | 施設整備等 | 0          | 0      | 0          |
|      | その他   | 91,163     | 0      | 91,163     |
|      | 前期資金  | 66,177     | 0      | 66,177     |
|      | 収入合計  | 10,652,320 | 30,325 | 10,682,645 |
| 支出内訳 | 事業活動  | 10,230,225 | 27,795 | 10,258,020 |
|      | 施設整備等 | 43,034     | 200    | 43,234     |
|      | その他   | 214,832    | 0      | 214,832    |
|      | 予備費   | 164,229    | 2,330  | 166,559    |
| 支出合計 |       | 10,652,320 | 30,325 | 10,682,645 |